

# 言語聴覚学科

## 1 教育課程（カリキュラム）

言語聴覚学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数				
			1年		2年		3年		必修	選択	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○						1			
		英語Ⅰ	15	○						1			
		英語Ⅱ	15		○					1			
		英文抄読	15			○				1			
		基礎英会話	10					○		1			
	人間と社会	歴史と文化	10	○						1			
		現代の社会	10	○						1			
		暮らしの中の法律	10		○					1			
	人間と科学	大学生活論	15		○					1			
		情報処理	15		○					1			
		統計学	15			○				1			
		健康スポーツ学Ⅰ	15			○				1			
健康スポーツ学Ⅱ		10					○		1				
専門教育分野	基礎医学	医学概論	15	○						1			
		病理学	15	○						1			
		解剖学	15	○						1			
		生理学	15		○					1			
		臨床医学	内科学	15			○				1		
			臨床神経学	15			○				1		
			小児科学	15		○					1		
			精神医学	15			○				1		
			リハビリテーション医学	15			○				1		
			耳鼻咽喉科学	15			○	○			1		
			形成外科学	15			○				1		
		臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	15		○					1		
		音声・言語・聴覚医学	呼吸発声発語系の構造・機能・病態	15	○						1		
			聴覚系の構造・機能・病態	15	○						1		
			神経系の構造・機能・病態	15	○						1		
	心理学	臨床心理学	15		○					1			
		生涯発達心理学	15			○				1			
		神経心理学	15					○		1			
		心理測定法	15			○				1			
		福祉心理学	15			○				1			
		認知・学習心理学	15	○						1			
		心理学系総論	15					○		1			
		言語学	言語学	15		○					1		
			日本語文法学	15					○		1		
		音声学	音声学	15	○						1		
	音声表記・分析学		15		○					1			
	音響学	音響学	15		○					1			
		聴覚心理学	15		○					1			
	言語発達学	言語発達学	15		○					1			
		言語発達学	15		○					1			
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	15			○				1			
		リハビリテーション論	15			○				1			
	専門展開科目	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学の基礎	15	○						1		
			言語聴覚障害学診断学	15			○				1		
			言語聴覚障害学総論	15					○		1		
			言語聴覚障害学臨床応用	15					○		1		
		失語症・高次脳機能障害学	失語症概論	15	○						1		
			高次脳機能障害概論	15		○					1		
			失語症・高次脳機能障害Ⅰ	15		○					1		
			失語症・高次脳機能障害Ⅱ	30			○				2		
			高次脳機能学総論	15					○		1		
		言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ	15		○					1		
			言語発達障害Ⅱ	30			○				2		
			脳性麻痺・運動発達の障害	15		○					1		
			学習障害・発達障害	15		○					1		
拡大・代替コミュニケーション			15			○				1			
発声発語・嚥下障害学		音声障害	15			○				1			
	器質性・機能的構音障害	15			○				1				
	運動障害性構音障害Ⅰ	15		○					1				
	運動障害性構音障害Ⅱ	30			○				2				
	吃音概論	15			○				1				
	摂食嚥下障害Ⅰ	15		○					1				
	摂食嚥下障害Ⅱ	30			○				2				
聴覚障害学	成人・小児の聴覚障害	15	○						1				
	聴能・発語訓練演習	15				○			1				
	聴力検査	15		○					1				
	視覚聴覚二重障害・重複障害	15		○					1				
	補聴器・人工内耳	15			○				1				
	聴覚障害学総論	15					○		1				
	音と聴力	15					○		1				
臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学実習）	1週		○					1				
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	3週				○			3				
	臨床実習Ⅲ（総合実習前期）	4週					○		4				
	臨床実習Ⅳ（総合実習後期）	4週				○			4				
	専門独自科目	自然科学概論	15	○						1			
生命科学の基礎		15					○		1				
口腔顔面の感覚・運動障害総論		15					○		1				
地域リハビリテーション論		15					○		1				
認知症のリハビリテーション		15					○		1				
神経の診かた		15			○				1				
動作分析の基礎		15			○				1				
疾病論		15					○		1				
口腔衛生論		15					○		1				
リハビリテーション栄養学		15					○		1				
保険診療・介護保険制度		15				○			1				
視覚言語論		15					○		1				
補綴・補装具論		15					○		1				
言語聴覚学特別講義Ⅰ		30					○		2				
言語聴覚学特別講義Ⅱ		30					○		2				
総計（卒業要件98単位以上）									96	5	4		

**2 卒業要件**

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 言語聴覚学科に3年以上在籍すること。
  - 休学期間は在学期間を含めません。
  - 在学期間は6年を超えることができません。

- (2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目96単位及び選択科目2単位以上、合計98単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

単位区分		単位
教養教育分野		(必修) 13単位
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 31単位
	専門展開科目	(必修) 44単位
	専門独自科目	(必修) 8単位 (選択) 2単位以上
<b>卒業要件：98単位以上</b>		

**3 卒業要件充足に伴う資格と称号**

言語聴覚学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、言語聴覚士国家試験の受験資格を得られるとともに、短期大学士（言語聴覚学）の学位が与えられます。